

1 定住状況について

1-1 居住年数

◎＜長期居住者＞が37.5%、＜中期居住者＞が38.1%

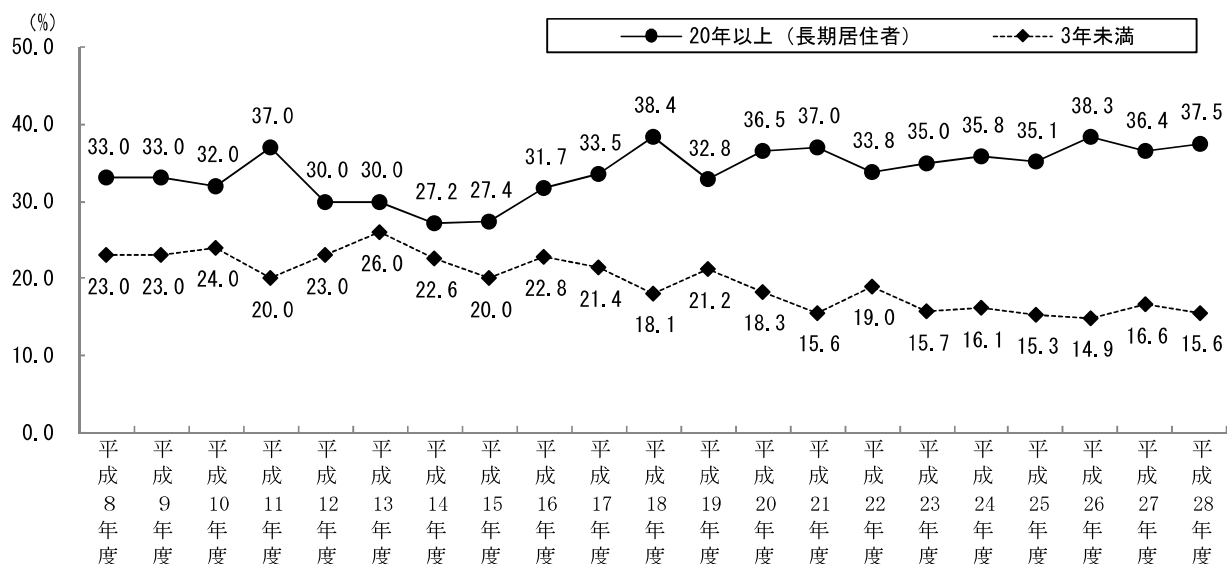
問1 あなたは、今のところにお住まいになって、何年になりますか。(○は1つ)

図表1-1 居住年数



居住年数「20年以上」の＜長期居住者＞は37.5%、「5～20年未満」の＜中期居住者＞は38.1%となっており、5年以上の居住者が7割強を占めている。

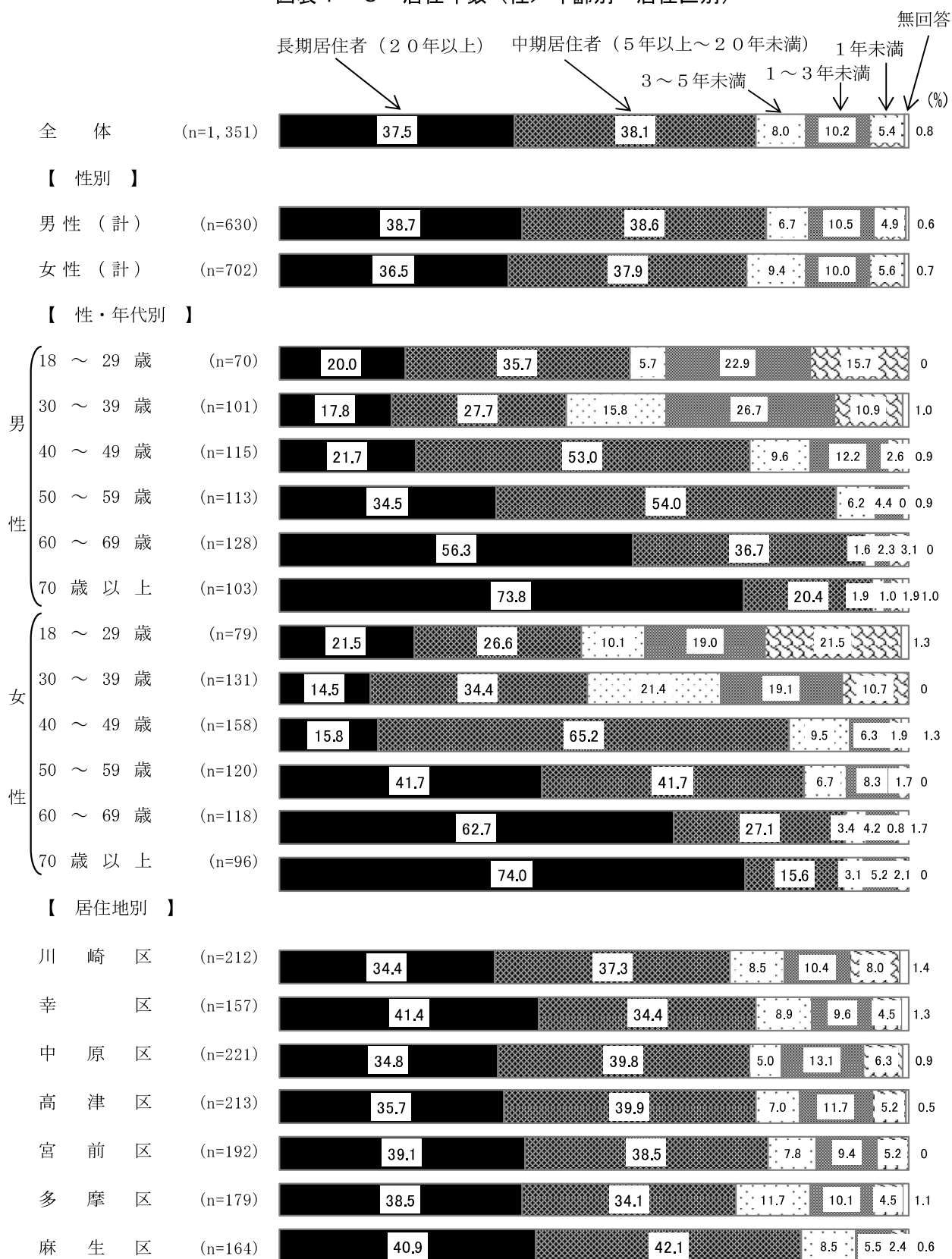
図表1-2 居住年数(経年比較)



過去の推移では、10年前(平成18年度)と比較すると、＜長期居住者は＞38.4%から37.5%に減少している。「3年未満」は、18.1%から15.6%に減少している。「20年以上」と「3年未満」の割合の差は、10年前の20.3ポイントに対し、今年度は21.9ポイントと増加している。

また、平成14年以降から続く、長期居住者の占める割合が増加している傾向に変わりはない。

図表1-3 居住年数(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、5年未満の短期居住者は、男女共に18～29歳、30～39歳が多い。

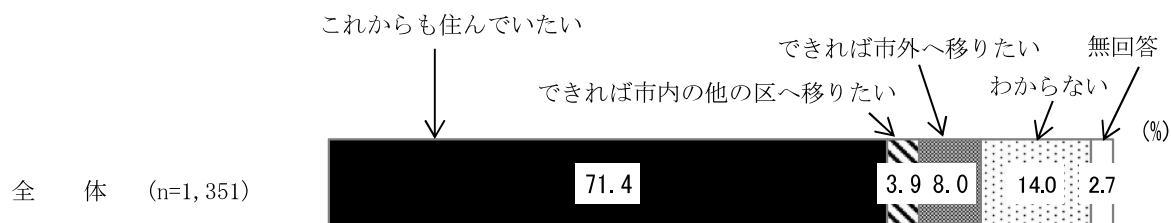
居住区別では、＜長期居住者＞は、「幸区」(41.4%)が最も高く、次いで「麻生区」(40.9%)、「宮前区」(39.1%)の順となっている。「3年未満」は、中原区(19.4%)が最も高く、次いで川崎区(18.4%)、高津区(16.9%)の順となっている。

1-2 定住意向

◎「これからも住んでいたい」が71.4%

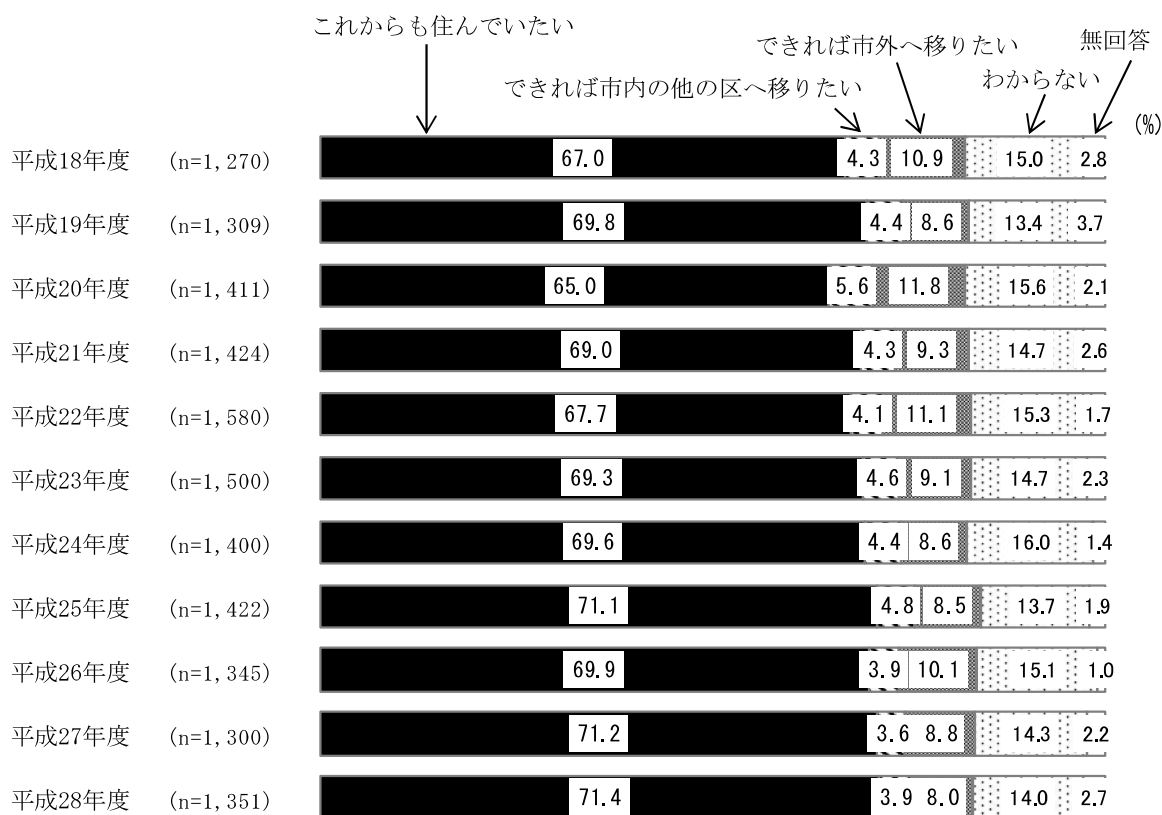
問2 あなたは、これからも今のところにお住いになりたいですか。(○は1つ)

図表1-4 定住意向



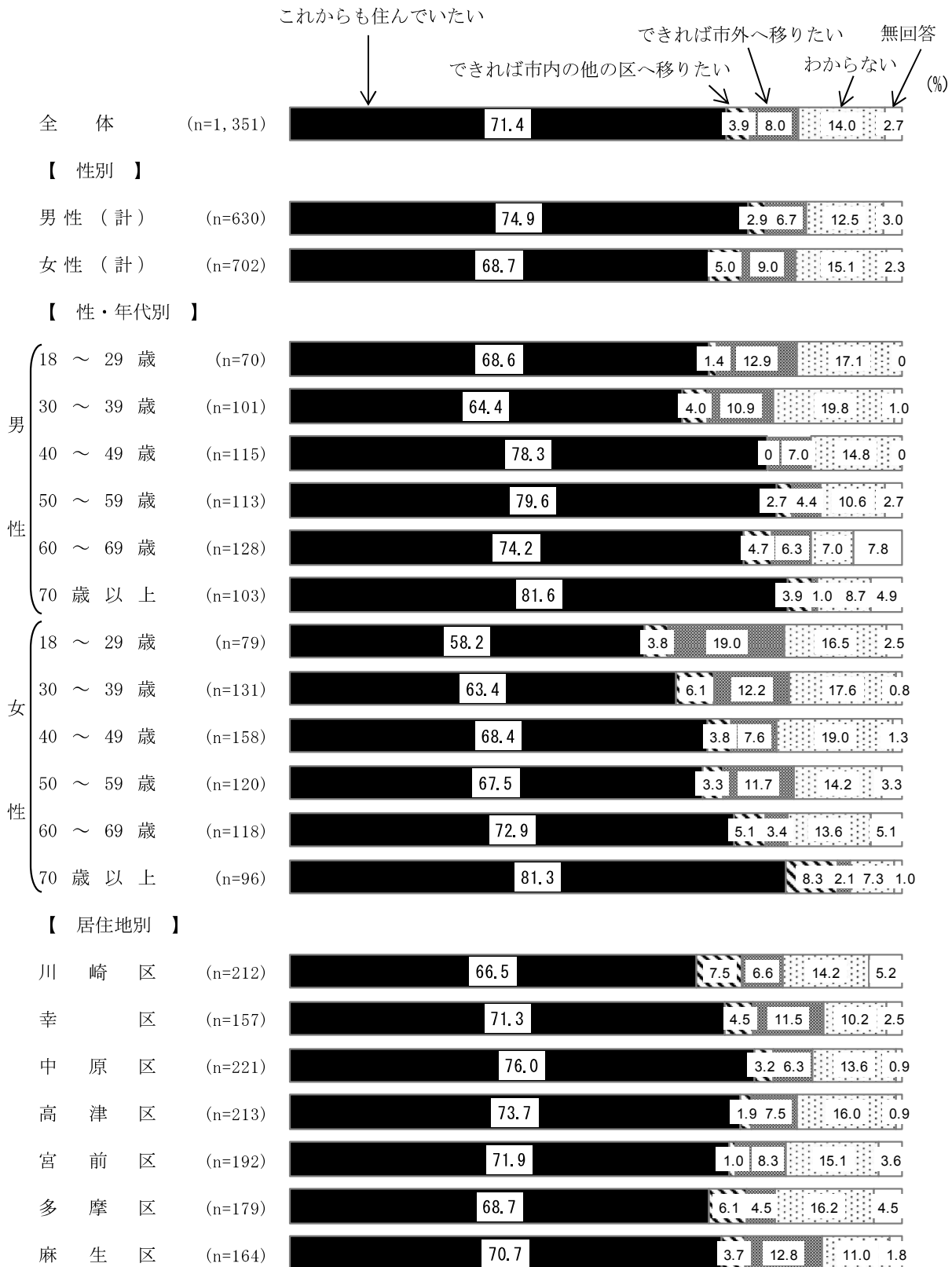
定住意向は、「これからも住んでいたい」(71.4%)が最も高く、「できれば市内の他の区へ移りたい」は3.9%、「できれば市外へ移りたい」は8.0%となっている。

図表1-5 定住意向(経年比較)



過去の推移では、10年前(平成18年度)と比較すると、「これからも住んでいたい」は、67.0%から71.4%へ4.4ポイント増加している。

図表1-6 定住意向(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「これから住んでいたい」は、男女ともにおおむね高い年代ほど高くなる傾向で、男女ともに70歳以上(男性:81.6%、女性:81.3%)が高くなっている。

居住区別では、「これから住んでいたい」は、中原区(76.0%)で最も高く、次いで高津区(73.7%)、宮前区(71.9%)の順となっている。

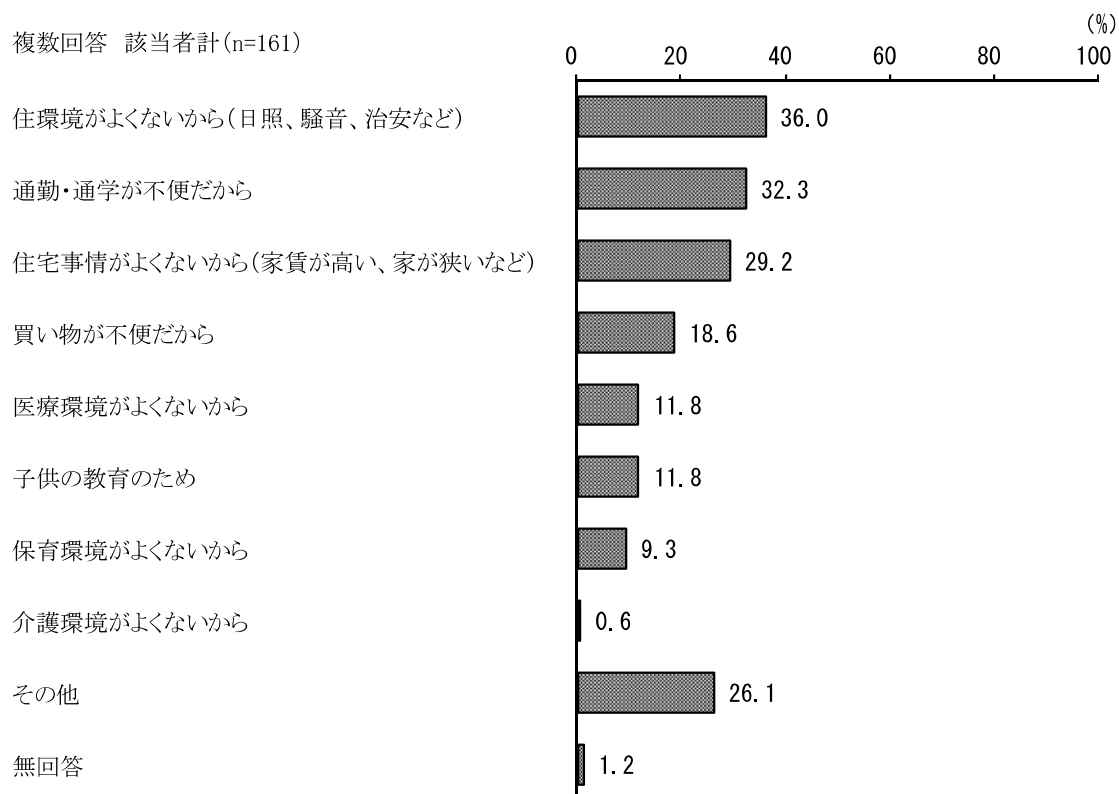
1-3 転居意向の理由

◎「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」が36.0%

問3 問2で、『できれば市内の他の区へ移りたい』または『できれば市外へ移りたい』と回答された方への質問。あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

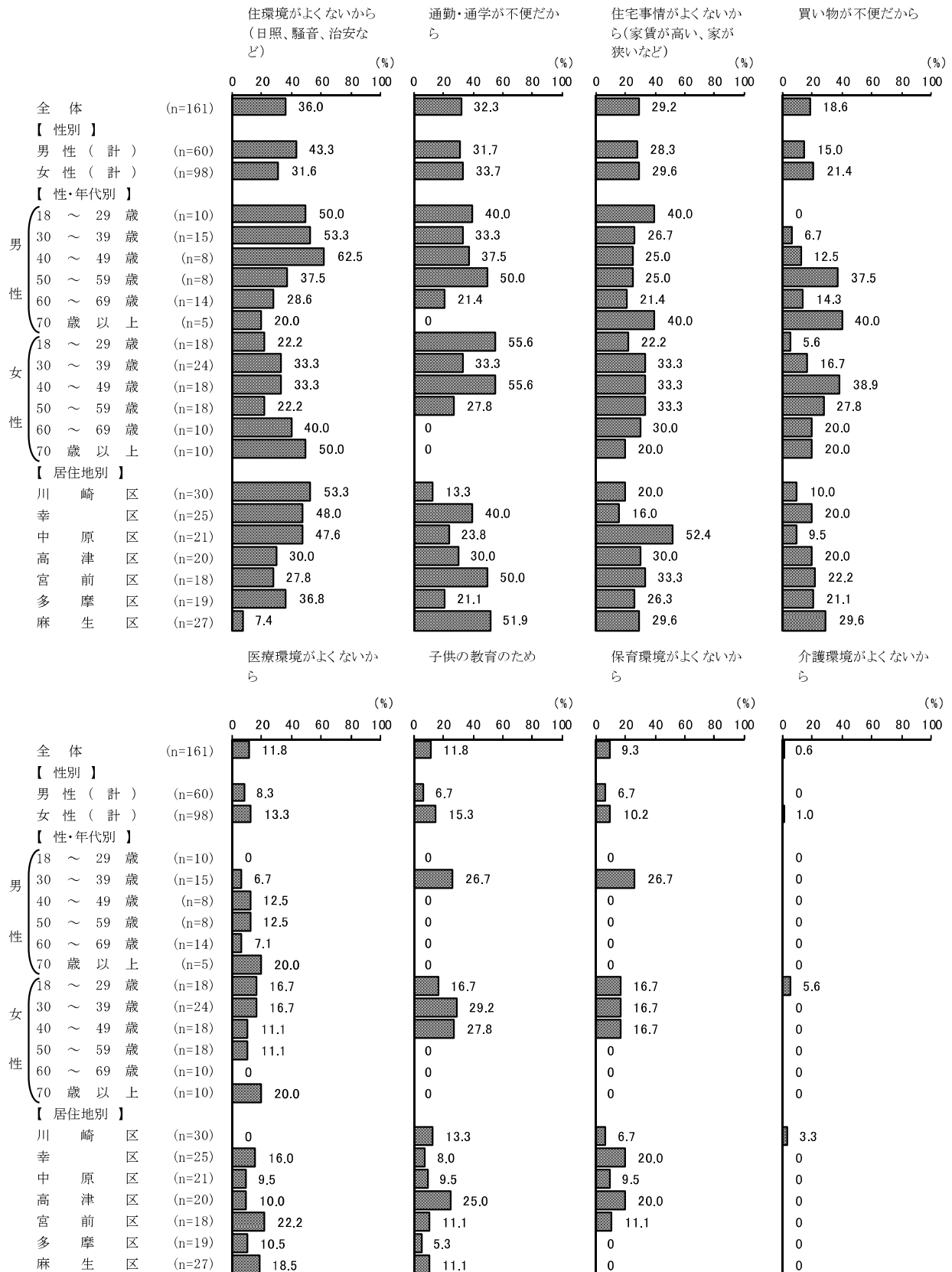
図表1-7 転居意向の理由



転居意向の理由は、「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」（36.0%）が最も高く、次いで「通勤・通学が不便だから」（32.3%）、「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」（29.2%）の順となっている。

(第2回アンケート)

図表1-8 転居意向の理由(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

1-4 転居先の希望

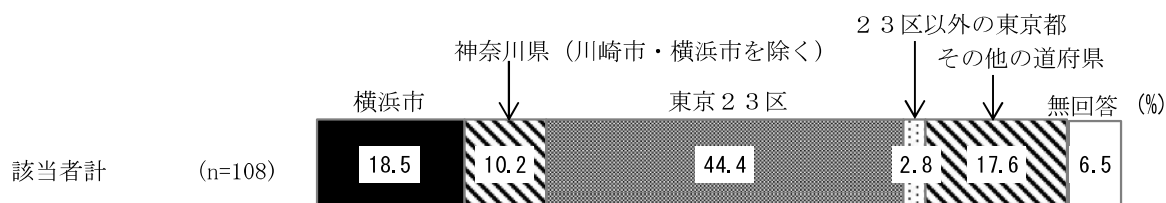
◎市内では「中原区」が24.5%、市外では「東京23区」が44.4%

問4 問2で『できれば市内の他の区へ移りたい』または『できれば市外へ移りたい』と回答された方にうかがいます。あなたは、どこに住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図表1-9 転居先の希望(市内)



図表1-10 転居先の希望(市外)

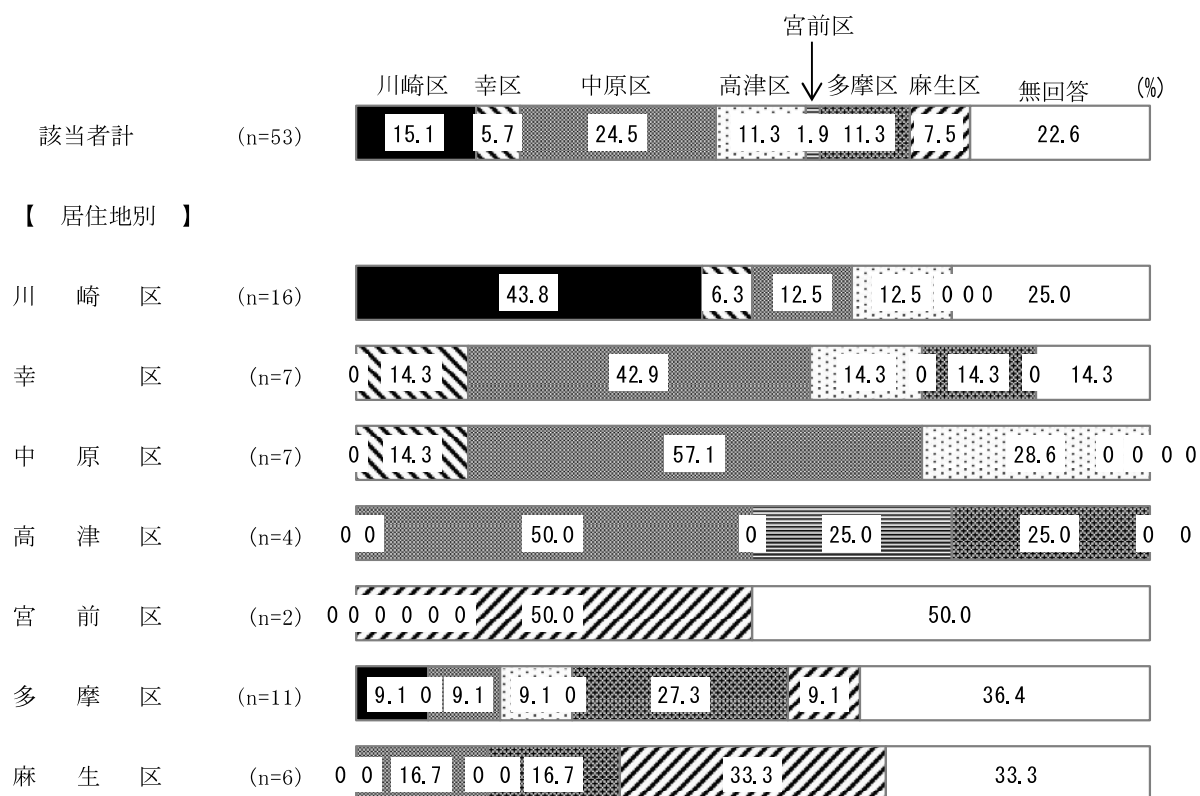


転居先の希望(市内)では、「中原区」(24.5%)が最も高く、次いで「川崎区」(15.1%)、「高津区」及び「多摩区」(11.3%)の順となっている。

転居先の希望(市外)では、「東京23区」(44.4%)が最も高く、次いで「横浜市」(18.5%)、「その他の道府県」(17.6%)の順となっている。

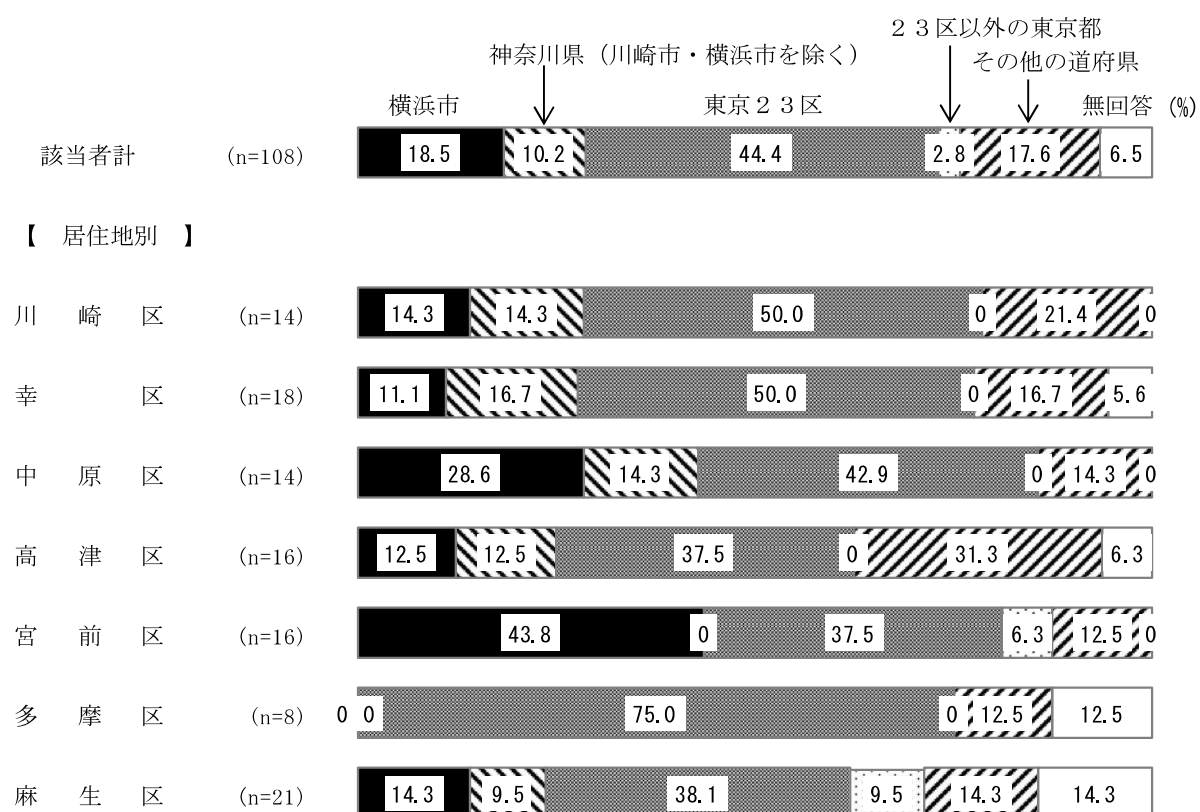
(第2回アンケート)

図表 1-11 転居先の希望 (市内、居住区別)



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

図表 1-12 転居先の希望（市外、居住区別）



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。